

令和7年度 まーいまーいNaha人材育成外国語講座業務の企画提案募集における質問への回答

質問箇所	質問内容	回答
<p>〈仕様書1ページ〉3. 講座、語学実践交流の企画業務 (2) 観光関連産業講座 (基礎編)</p>	<p>(〈募集要領1ページ〉1. 業務概要、(3) 事業成果指標 ①「『習得した語学を外国人との交流や仕事での接客に活用できるレベルになった』と回答した受講生の割合が80%以上」を踏まえ) 一般的に業務で活用できる語学力の習得には数百時間の学習が目安とされているなか、8コマで上記成果指標の達成を目指す場合、受講対象者の基礎語学力がどの程度であることを想定しているか。(例えば、英語：英語技能検定4級程度の基礎語学力がある方、中国語：①HSK1級レベルの基礎語学力がある方、②発音記号から学習を始める方、韓国語：①ハングル能力検定5級レベルの基礎語学力がある方、②ハングル文字から学習を始める方など) また、広報素材に想定される語学レベルを記載することは可能か</p>	<p>・実際に使えそうなフレーズ(あいさつ等)を10ぐらい話せ、簡単な単語が聞き取れる程度をゴールとして想定している。 ・広報の際に語学レベルの表記も可能。</p>
<p>〈仕様書2ページ〉4. 講座運営業務 (2) 実施スケジュールの設定 [開講前] カ 受講生募集の広報、キ 受講決定にかかる諸業務</p>	<p>広報時点において、「8割以上の出席が見込まれる方を優先します」などの記載は可能か。また、応募多数の場合、抽選ではなく、出席の見込みが高い方を当選とすることは可能か。</p>	<p>・可能。</p>
<p>〈仕様書3ページ〉4. 講座運営業務 (2) 実施スケジュールの設定 [実施] イ 場所</p>	<p>那覇市が所有する施設で実施する場合、会場使用料等(プロジェクター、ホワイトボード等の講座運営に必要な機材を含む)の免除申請は可能か。可能な場合、免除申請で使用可能な施設情報について、情報提供はあるか。</p>	<p>・免除申請は可能だが施設によって適用に差異がある。(免除・減免) ・情報提供は可能。</p>
<p>〈仕様書3ページ〉4. 講座運営業務 (2) 実施スケジュールの設定 [実施] イ 場所</p>	<p>専門学校・日本語学校・語学学校など、民間の施設を会場とすることは可能か。</p>	<p>・可能。</p>
<p>〈仕様書4ページ〉4. 講座運営業務 (2) 実施スケジュールの設定 [実施] ウ 人数</p>	<p>「※講座内容により調整可。」とあるが、どの程度の調整まで可能か。(例えば、英語30名、中国語20名、韓国語10名)</p>	<p>・各講座の最少人数は10名程度を見越している。ご質問の例のとおり。</p>

<p>〈仕様書4ページ〉 4. 講座運営業務 (2) 実施スケジュールの設定 [開講後] ア 受講後アンケート</p>	<p>アンケートの対象者に、オンデマンド受講者は含まれるか。</p>	<p>・受講決定者は全員対象者とする。ただし、辞退者は、辞退理由とオンデマンドに関する事項（視聴回数や視聴の満足度など）とする。</p>
<p>〈仕様書2ページ〉 4. 講座運営業務</p>	<p>受講生の出席状況に関連する資料の提出は求められるか。求められる場合、オンデマンド受講者は統計の対象となるか。</p>	<p>・成果物の一部として提出を求める。 ・出席者は対面受講者とする。 ・なお、出席状況とは別にオンデマンド利用状況もアンケートで捕捉し、提出を求める。</p>
<p>〈仕様書5ページ〉 5. 成果物</p>	<p>記載されている以外に提出が必要な付属書類はあるか</p>	<p>・本事業で得た情報等は、必要に応じて提出をお願いする場合もある。</p>